

山内中学校だより

学校教育目標 - 夢と誇りをもち 自ら学び 仲間とともにしなやかに伸びる生徒の育成-

自ら求めて 前進!!

第14号 2026.3.9

文責：校長 山口 信一郎

～変化の時代、自分らしくしなやかに切り拓く～

3月6日(金) 第67回卒業証書授与式の校長式辞から一部抜粋

79名の卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。生成AIの普及に象徴されるような急速に変化する社会、また多様な価値観が共存するこれからの時代は、変化に振り回されず、それをチャンスと捉え、自ら活路を見出していくポジティブな姿勢が求められています。

卒業にあたり、激動の時代を歩む皆さんに二つのことを伝えました。

一、「正解か不正解かは後にならないと分からない」

人生という旅において、どの道を選べば正解かは、選択した瞬間には誰にも分かりません。時には遠回りをしたり、予想外の出来事に遭遇したりすることもあるでしょう。しかし、一見「失敗」や「不正解」に思える選択も、振り返ったときには、自分にとって大きな意味を持つ「大正解」へと変わっていることがあります。進路や生き方に迷ったときは、「自分が何をしたいのか」という心の声を大切にしてください。自信を持って選んだ道を、その後の努力と経験で「正解」にしていけばよいのです。

二、「自分の内面と向き合う」

これから皆さんは、理想と現実のギャップや他者との違いに悩み、葛藤する時期があるかもしれません。答えが出ない自分に苛立つこともあるでしょう。しかしその苦しみは、皆さんが新しい成長のステージに立っている証（あかし）です。焦らずに一度立ち止まり、自分の内面とじっくり向き合ってみてください。そうして悩み抜いた先に、一生の宝物である「自分らしさ」が必ず見つかります。

本校の校歌には「ゆけ 学習の道 楽し」「ゆけ 鍛錬の道 険し」「ゆけ 修養の道 遠し」という言葉があります。山内中学校で培った知識ややり抜く力を糧に、それぞれの道を力強く歩んでください。皆さんの輝かしい未来を心から応援しています。



卒業生代表の答辞から一部抜粋

前生徒会長だった〇〇〇〇さんが堂々と読み上げました。

三年前、新しい制服に身を包み、期待に胸を膨らませて入学した山内中学校。本日、私たち卒業生七十九名は、かけがえのない思い出を胸に、学び舎を巣立ちます。振り返れば、葛藤と成長の連続でした。

部活動や委員会仲間と試行錯誤し、自分たちの力不足に悩みながらも、励まし合って乗り越えた日々。二年生での職場体験では、地域の皆様の温かさに触れ、働くことの厳しさと喜びを学びました。

三年生では、生徒会を中心に「自分事として考える」ことを大切にしてきました。体育大会では全生徒が笑顔になれる形を追求し、平和学習では被爆者の方のお話を伺い、当たり前前の日常の尊さを深く考えました。先生方とは、時にぶつかり、本音で語り合うことで、最後には確かな絆を築くことができました。最後まで本気で向き合ってくくださったことに、心から感謝しています。

大切な皆さんに伝えたいことがあります。それは、勇気を持って声を上げようとしている誰か、あるいは声を上げきれずにいる誰かの存在を、どうか心に留めてほしいということです。他者の挑戦を否定せず、小さなSOSに耳を傾けること。それは私たち一人ひとりにできることです。

私の尊敬するガンジーの言葉に、「In a gentle way, you can shake the world. ～優しくして穏やかな方法でも、世界を変え動かすことができる～」**という一節があります。小さな優しさや穏やかな対話は、世界を変える大きな力を持っています。

私たちはこれから別々の道を歩みますが、どんな場所でも「優しさ」という強い力を信じ、人々の幸せ（ウェルビーイング）の実現に貢献できる大人になることを誓います。十五年間、私たちを支えてくれた家族、地域の皆様、本当にありがとうございました。

